

2009年2月23日

〒020-8551 岩手県盛岡市上田 4-3-5  
岩手大学 工学研究科  
〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐 2-7-1  
日本電気硝子株式会社

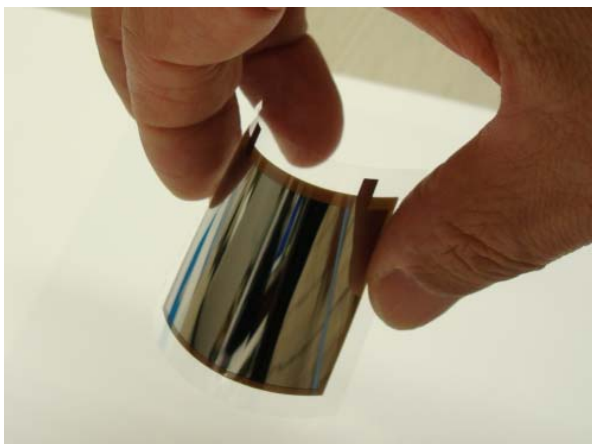
## 岩手大学と日本電気硝子 世界最薄の 30 $\mu$ m ガラス基板リチウムイオン二次電池を実現

岩手大学工学研究科教授 馬場 守と日本電気硝子株式会社(本社:滋賀県大津市、社長 井筒 雄三)は、30 $\mu$ m 厚の無研磨超薄板ガラス基板上に RF スパッタ方式により作製した薄膜リチウムイオン二次電池を世界で初めて実現しました。

日本電気硝子は、液晶パネルの基板として用いられるガラスの製造技術を応用して超薄板ガラスの製造に取り組んできましたが、この度、30 $\mu$ m という薄さのガラスを開発しました。このガラスは無研磨でありながら、表面が非常に平滑なため、薄膜形成の基板としては最適な材料となります。

フレキシブルな超薄型ガラス基板リチウムイオン二次電池の開発は、モバイル電子機器の薄型化や次世代 IC カードの実現に寄与するものと考えられます。さらに今回の技術は、量産性の高いロール・ツー・ロール方式の製造プロセスによる生産の可能性も示すもので、太陽電池や有機 EL 素子など、より広範なフレキシブルガラス基板薄膜電子デバイスへの応用展開が期待できます。

なお、開発された新技術は、2009年2月25～27日に東京ビッグサイトで開催される第2回国際太陽電池展の日本電気硝子ブースで出展予定です。



30 $\mu$ m 厚超薄板ガラス基板リチウムイオン二次電池



超薄板ガラス

以上

(リリース内容に関するお問い合わせ先)

日本電気硝子株式会社

総務部 広報担当(松田) 電話:077-537-1861

(超薄板ガラスに関するお問い合わせ先)

日本電気硝子株式会社

液晶板ガラス事業本部 営業部

東京 電話:03-3456-3511 大阪 電話:06-6399-2711

(リチウムイオン二次電池に関するお問い合わせ先)

岩手大学工学研究科教授 馬場 電話:019-621-6387